＜紅梅会＞東京都新宿区信濃町 35 孝養舎内　TEL・FAX　03(3341)8116　2013 年 9 月 30 日発行
URL：http://keio-koubaikai.jp/

紅梅會會報

第 99 号

会長あいさつ

49 回生　藤村　龍子

猛暑の日々が続いていますが、会員の皆様はどのような日々をお過ごしでしょうか。

気象庁の分析報告によると、1 時間に 50mm 以上の「非常に激しい雨」が降る頻度が過去 30 ～ 40 年で 3 割余り増え、一方でコンクリートの建物が多い都市化による「ヒートアイランド現象」は日本各地を悩ませています。健康リテラシーに関心をもっている私たち医療者は、日々の看護ケアのなかで気象情報に注視する日々と思います。さて、5 月 12 日（第 2 日曜日）第 70 回紅梅会総会が東京ガーデンパレスにおいて開催され、会員合計 102 名が集いました。

新役員・委員会の構成メンバーの割合は、厚生女子学院卒業生 26%、看護短期大学・看護医療学部卒業生 74%で、紅梅会活動が新しい可能性に期待されます。

総会での報告・審議事項は次のように承認されました。

◆会則変更の承認

第 1 章第 1 条の紅梅会という名称を、「慶應看護同窓会　紅梅会」に変更いたしました。これは塾内・塾外においての紅梅会活動を明解にするためです。「慶應連合三田会」に名称変更の届けを提出いたしました。

◆次年度総会の開催日

2014 年 5 月 11 日（第 2 日曜日）場所：東京ガーデンパレス

◆会員サービスの充実・支援

1) 年 2 回の会報による慶應看護の情報提供、会員の地域社会における活動の様相や同窓生交歓、国内・国際的な活動等を会報を通じて届けています。会報に掲載されない情報は、ホームページを通じて発信しています。

2) 慶應看護同窓会　紅梅会会員名簿作成の発刊：2014 年 5 月完成を目指して名簿委員会が緻密な準備をしています。個人情報保護法に準拠しながら、慶應義塾の社中／同窓の絆を高める一冊として手元に収めて欲しいと願っています。

3) 総会開催時に企画される講演や秋の研修会等は、学内外で社会的に学術的な評価を受け活躍している会員による演者を募っています。今年の総会では、70 回生の三上朱美さんに講演を依頼し好評を得ました。

◆慶應看護 100 年記念事業への支援と寄付金のお願い

1918 年（大正 7 年）に看護婦養成所の受け入れが開始され、慶應看護教育は 2018 年に 100 年を迎えることになります。慶應看護 100 年記念に際して記念企画のあり方について検討する「慶應看護 100 年準備企画委員会」が設置され、紅梅会代表として会長・副会長が出席しています。新名簿発刊とともに、会員の皆様へ「慶應看護 100 年記念事業計画」のために募金活動を具体的に開始します。2014 年 4 月～ 2017 年 3 月迄「記念事業の趣旨」と寄付金の使途を示した文書を送付いたします。主な使途は、①看護ベストプラクティスセンターの運営資金、②慶應看護教育 100 年記念史編纂・出版、アーカイブスの準備等 が検討されています。ご協力をお願いいたします。

◆慶應義塾トピックス：慶應連合三田会の新会長は医学部出身の比企能樹先生

26 年間の長きに亘って尽力された服部禮次郎連合三田会会長の逝去に伴って、比企能樹新会長が誕生いたしました。医学部も創立 100 年を迎えるにあたって、信濃町キャンパスに「新病院 1 号館」建設による新たなる飛翔を目標に向かっています。チーム医療の重視される今日、協働の絆と支援を紅梅会も高めたいと思います。

秋号の主な内容

◆第70回紅梅会総会の報告 ……2ページ
◆慶應義塾大学病院のトピックス … 4ページ
◆看護医療学部だより …… 5ページ
◆新入会員の紹介・学部生の活動 … 6ページ
◆世代をつなぐ「Link age」活躍する同窓生 …… 7ページ
◆第36回紅梅会研修会のお知らせ … 7ページ

会報発送者数3202名（2013年 9 月30日現在）

第 70 回　紅梅会総会の報告

紅梅会総会を終えて

準備委員　学３回生　**今福　麻美**

2013 年 5 月 12 日、東京ガーデンパレスホテルにて第 70 回紅梅会総会を開催いたしました。今回も、厚生女子学院から看護医療学部の卒業生まで幅広い年齢層から約 100 名の方にご出席いただき、盛大な会を開くことが出来ました。

総会の進行につきましては、挨拶、審議事項、新旧役員紹介などに続き、70 回生の三上朱美さんを講師としてお招きし、「女性のトータルヘルスケア　ホルモン療法（ＨＲＴ）について－更年期を健やかに過ごすために－」というテーマで講演をしていただきました。女性が生涯に渡って健康に過ごすために必要な更年期症状の特徴やその治療に関する情報が盛り沢山の内容でした。助産師として赤ちゃんの訪問をしながら、更年期治療へと活躍の場を広げられた三上さんのお話を聞き、看護職の役割の大きさや、そのおもしろさを再度感じることが出来ました。

講演後は 52 回生小林洋子さんより乾杯のご挨拶をいただき会食を始めさせていただきました。旧友との近況報告や、様々な世代の卒業生同士で交流を図ることができ、私自身もとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

そして、一昨年から恒例となっております手話で歌う「四季の歌」の秋を 28 回生の阿部美津子さんより教えていただき、総会出席者全員で歌うことが出来ました。

来年も楽しい会になりますよう、準備をすすめて参りますので、ぜひ多くの卒業生の方にご出席いただきたいと思います。また、次回総会で講演をしていただく講師の方を探しております。講師を引き受けてくださる方やご推薦いただける方がいらっしゃいましたら、準備委員までご連絡くださるようお願いいたします。

第70回紅梅会総会　審議事項報告

書記　短４回生　**太田　佐知子**

先日開催されました第 70 回紅梅会総会における今年度の事業計画に対する審議内容についての報告をさせて頂きます。

慶應看護教育は、2018 年に 100 年を迎えます。2012 年 6 月より看護医療学部と紅梅会による「慶應看護 100 年記念事業準備委員会」が発足し、具体的な記念事業内容を計画しております。ベストプラクティスセンターの設置、100 年記念誌の編纂など運営資金が必要と考え、募金活動の提案と、2014 年 5 月の名簿完成にともない、会報にて具体的なお知らせやお願いをする事を審議し承認されました。

また紅梅会の活動は、学内外を問わず幅広く行われており、広報や活動報告をする際に、紅梅会という名称だけでは、慶應看護との関連づけが難しい状況があり、将来を見据え、過去の 100 年の実績を踏まえ、名称の変更を審議しました。名称は『慶應看護同窓会　紅梅会 』とすることで承認され、会則第 1 項第 1 条が変更となりました。

紅梅会総会に参加して

86 回生　**木村　伸子**

薫風の五月に紅梅会の総会が開催され、卒業してから 25 年ぶりに出席させていただきました。同期の仲間も今は慶應病院に勤務する者、教育の現場にいる者、様々の場面で活躍しています。そういう私は家庭に入り第一線にはおりませんが、学生時代に寝る間もおしんで勉強し、厳しい実習を励まし合いながら学んだ仲間は今も宝物であり、学んだ知識や技術は今でも手指、頭すべてが覚えています。慶應であることの品性も思いやりもたたきこまれました。今はなかなか時間も人も足りないのでしょうが、きっとどこへ行っても恥ずかしくない向学心旺盛で謙虚な人材を輩出していると思っています。

最後に、阿部美津子さんの「秋」、楽しく歌わせていただきました。次回の「冬」完結編も楽しみにしております。

2012年度　紅梅会収支決算報告

2012年4月１日から2013年3月31日まで(単位:円)　　△は不足額を表す

科　目	予算額	決算額	増　減	備　考
1.事業活動収入				
1)会費収入	3,700,000	1,475,000	△ 2,225,000	
(1)終身会費	3,000,000	840,000	△ 2,160,000	30,000×28名
(2)年会費	700,000	635,000	△ 65,000	1,000×635名
2)総会参加費	1,000,000	734,000	△ 266,000	
3)広告料収入	150,000	55,000	△ 95,000	
4)寄付金収入	0	26,000	26,000	
5)雑収入	15,000	7,272	△ 7,728	
(1)預金受け取り利息	15,000	7,272	△ 7,728	
(2)その他	0	0	0	
事業活動収入計	4,865,000	2,297,272	△ 2,567,728	

2.事業活動支出				
1)会議費支出	1,725,000	1,155,246	569,754	
⑴総会関連費	1,300,000	894,098	405,902	
⑵役委員会関連費	425,000	261,148	163,852	
①役員会	20,000	8,904	11,096	
②役・委員会	180,000	123,972	56,028	
③編集委員会	100,000	63,201	36,799	
④準備委員会	40,000	21,230	18,770	
⑤研修委員会	50,000	26,800	23,200	
⑥役員推薦委員会	5,000	700	4,300	
⑦ホームページ委員会	20,000	7,175	12,825	
⑧名簿作成委員会	10,000	9,166	834	
2)事業費支出	1,250,000	1,310,701	△ 60,701	
⑴研修会費	50,000	35,283	14,717	
⑵会報発行費	1,200,000	1,275,418	△ 75,418	同封書類が増えたため
3)管理費支出	1,580,000	1,098,628	481,372	
⑴人件費	1,000,000	755,500	244,500	
⑵通信費	180,000	149,098	30,902	
⑶消耗品等費	200,000	152,030	47,970	
⑷ホームページ業務委託費	150,000	42,000	108,000	
⑸雑費	50,000	0	50,000	
4)卒業記念費支出	120,000	119,311	689	
5)看護医療学部支援関連費	60,000	0	60,000	
6)連合三田会関連費	30,000	26,000	4,000	
7)予備費	100,000	0	100,000	
事業活動支出計	4,865,000	3,709,886	1,155,114	

注）事業活動収入では終身会費が予算額に達することができませんでした。
　　役委員会関連費は各委員会の努力もあり支出を抑えることができました。活動費支出は予算を下回ることができましたが、収入を上回る結果となりました。

2013年度　収支予算書

2013年4月１日から2014年3月31日まで(単位:円)

科　目	予算額	前年（2012年度）予算額	増　減	備　考
1．事業活動収入				
1）会費収入	3,700,000	3,700,000	0	
（1）終身会費	3,000,000	3,000,000	0	30,000 × 100 人
（2）年会費	700,000	700,000	0	1,000×700人
2）総会参加費	1,000,000	1,000,000	0	
3）広告料収入	150,000	150,000	0	
4）寄付金収入	0	0	0	
5）雑収入	10,000	15,000	△ 5,000	
（1）預金受け取り利息	10,000	15,000	△ 5,000	
（2）その他	0	0	0	
事業活動収入計	4,860,000	4,865,000	△ 5,000	訂正：総会資料では増減 50000 でしたが、左記の誤りでした

2．事業活動支出				
1）会議費支出	1,660,000	1,725,000	△ 65,000	
（1）総会関連費	1,200,000	1,300,000	△ 100,000	
（2）役委員会関連費	460,000	425,000	35,000	
①役員会	10,000	20,000	△ 10,000	
②役・委員会	180,000	180,000	0	
③編集委員会	100,000	100,000	0	
④準備委員会	40,000	40,000	0	
⑤研修委員会	50,000	50,000	0	
⑥役員推薦委員会	2,000	5,000	△ 3,000	
⑦ホームページ委員会	18,000	20,000	△ 2,000	
⑧名簿作成委員会※１	60,000	10,000	50,000	
2）事業費支出	1,480,000	1,250,000	230,000	
（1）研修会費	50,000	50,000	0	
（2）会報発行費※２	1,400,000	1,200,000	200,000	９月 3,200 部発行 ３月 4,000 部発行
（3）慶應看護100年記念事業準備活動費※３	30,000	0	30,000	
3）管理費支出	1,480,000	1,580,000	△ 100,000	
（1）人件費	1,000,000	1,000,000	0	
（2）通信費	180,000	180,000	0	
（3）消耗品等費	200,000	200,000	0	
（4）ホームページ業務委託費※４	100,000	150,000	△ 50,000	
（5）雑費※５	0	50,000	△ 50,000	
4）卒業記念費支出	120,000	120,000	0	
5）看護医療学部支援関連費	40,000	60,000	△ 20,000	
6）連合三田会関連費	30,000	30,000	0	
7）予備費	50,000	100,000	△ 50,000	
事業活動支出計	4,860,000	4,865,000	△ 5,000	

※１：昨年度より名簿作成委員会を発足し、今年度より本格稼働することになりました。活動に伴い委員会費を増額しています。
　　また、各委員会のご協力により委員会費を検討して削減しています。
※２：名簿作成により 12 月頃に会員の住所が確認されます。今まで住所不明で会報が発送できなった会員に対しても会報を発送するため、
　　３月の会報発行部数は増刷を予定しています。会報発行部数増刷により予算を増額しています。
※３：慶應看護 100 年記念事業にあわせ、2013年度から慶應看護 100 年記念事業準備活動費を予算に計上することになりました。
　　具体的な活動内容が未定のため予算を上記金額とし、不足分は予備費より賄う予定です。
※４：ホームページ業務委託内容を確認し、予算を再検討して減額しています。
※５：2011年度以降、雑費で使用していた内容を別途予算に計上したため、予算を使用していません。今年度より予算を削除しています。

慶應義塾大学病院のトピックス

1．2013 年度看護師採用状況（2013 年 4 月）

新採用者：109 名（うち男性 11 名）　新卒者 99 名（看護医療学部 63 名）　経験者 10 名

2．新病院棟建設事業進捗状況

新病院棟建設事業は、医学部創立 100 年記念事業として、総予算 300 億円（寄付金 100 億円）規模で活動が始まりました。新病院棟は 6 号棟 7 号棟の敷地に建てられる予定で、5 年の年月をかけて 1 期工事、2 期工事を行い、2018 年度のオープンを目指しています。新病院棟は 1 号館、新棟と呼んでいた棟が 2 号館、昨年 8 月に別館跡地に開院した棟が 3 号館となります。今後、建設準備や建設に伴なう病棟再編成が行われ、3 病棟の閉鎖、HCU12 床増床、第一相治験病棟開設、6 号棟解体、1 期工事などが行われる予定です。

◆新病院棟建設スケジュール

2012 年 12 月	「医学部創立 100 年記念募金委員会」設置
2013 年　2 月	設計・施工者（株）竹中工務店　設計監理・監修者　日揮（株） 「新病院棟開設準備室」設置・職員 7 名配属（事務系 5 名・看護部 2 名）
2013 年　4 月	「新病院棟建設実行委員会」設置
2013 年　7 月	基本設計完成
2013 年　7 月～	病棟再編成、約 100 床縮小
7 月 31 日	7 号棟 2 階病棟・7 号棟 3 階病棟閉鎖
8 月 31 日	6 号棟 2 階病棟閉鎖
8 月中旬～ 9 月中旬	6 号棟 1 階・3 階・4 階・5 階病棟は 2 号棟へ移転、7 号棟 4 階・5 階病棟は 1 号棟へ移転
9 月	1 号棟 3 階ＨＣＵ（12 床）開設予定 1 期工事開始

◆新病院棟コンセプト

新病院建設を中核とした世界に冠たる総合医学府の構築

Ⅰ．全ての医療チームを結集し、国民の健康増進と疾患制圧に貢献するクラスター診療の実現

Ⅱ．世界最先端の基礎臨床一体型医学の展開による国際医療拠点の創設

Ⅲ．災害に強い都市型地域医療の推進

Ⅳ．医看薬の連携による世界を先導する医療人の育成

3．文部科学省大学教育改革推進事業・看護師の人材育成システムの確立「ジェネラリストナースの発達モデル」

文部科学省大学教育改革推進事業は、2013 年度、事業取り組みの最終年となります。昨年度は「実践力の高い看護師の育成」と「一人ひとりの看護師のキャリア開発を支援する」ことを目指し、「ジェネラリスト・ナース教育プログラム」「臨床指導者育成プログラム」「キャリアパス構築と支援」「病院・看護医療学部の人事交流」の 4 つのワーキンググループ(4WG)の活動を推進しプログラムの精度を高めて行きました。中でも「臨床指導ナース育成プログラム」(高い臨床判断力と教育力をあわせ持つ看護師の育成)と「キャリアアドバイザー養成講座」(看護管理者や指導役割を担う看護師がキャリア支援者の力を高める）を開設し、新たなキャリアパスの構築と看護管理職のキャリア開発支援を行いました。2012 年 12 月にシンポジウム『ソーシャル・バリューとしての看護師キャリア』を開催し、院内外より 4 名のシンポジストを迎え「看護職の社会的価値」を考える機会としました。

今年度は、4WG の活動を学際的に評価、分析し、看護職の人材育成システムを確立し、事業終了後も継続できるように活動を行っていく予定です。

＜ホームページ＞　http://kango-career.hosp.keio.ac.jp/

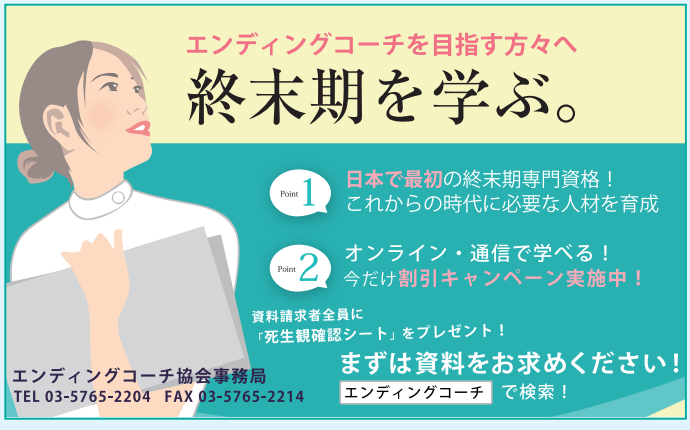
（78 回生　鎮目　美代子）

嘱託職員募集

慶應義塾大学病院・
予防医療センター看護師

業務内容：人間ドッグに関わる業務
内視鏡検査・健診介助・問診など

問合せ先:予防医療センター看護師採用担当
電話:03−5363−3719（看護部事務室）
E-mail:k-saiyo@adst.keio.ac.jp



看護医療学部だより

紅梅会の皆様には、日頃から大変お世話になり、感謝申し上げます。
2012 年 4 月～ 2013 年 4 月における看護医療学部の現状報告をさせていただきます。

1．入学生

2013 年 4 月、103 名の 1 年生と、5 名の第 2 学年編入生を迎えることができました。

2．卒業生

2013 年 3 月、107 名（編入生を含む）の卒業生（9 期生）を送り出しました。進路先の内訳は次のようでした。大学病院 77 名のうち、慶應義塾大学病院が 63 名。一般病院 18 名、一般企業 4 名、地方自治体 3 名、助産専攻科進学 3 名、大学院進学 1 名でした。またこれまでの卒業生を対象に動向調査を web で行ったところ、100 名を超える回答がありました。

3．2012 カリキュラム改正

2012 年 4 月からカリキュラム改正を行いました。学部がめざす看護医療の先導者がもつ能力として、人間力、専門力、連携力、国際力、変化力の 5 つを挙げ、各科目の教育内容や展開方法の中でこの能力を獲得できるようにしようとしています。また、社会的ニーズ対応により保健師教育は 2015 年の 4 年生から 20 名枠の選択制になります。

4．医学部、看護医療学部、薬学部の 3 学部合同教育の推進

2011 年からスタートし、2012 年には各学部とも必修科目に位置づけ、3 段階からなる内容へとさらに充実してきました。初期（看護医療学部 1 年生）では互いに知り合い、中期（2 年生）ではそれぞれの専門性の理解から連携の必要性を学び、後期（4 年生）では事例の問題と対策を話し合います。各期ともグループワークを活発に行い、参加学生の満足度はとても高く、3 学部の教員も力を合わせて取り組んでいます。

2013 年 3 月には、3 学部合同でラオスでのプライマリヘルスケア保健医療チームを学ぶ海外研修を行いました。この研修は 2012 カリキュラム改正で授業科目になります。

5．大学病院看護部との連携の推進

看護部の「看護職キャリアシステム構築」事業には引き続き多くの学部教員も協働しており、いよいよ具体的な成果が見えてきました。

また、教員の病院における臨床活動を、組織的に位置づけていただきました。

6．看護ベストプラクティス研究開発ラボラトリー（リーダー：小松浩子教授）の活動

2011 年 SFC 研究所に設置し、2012 年 4 月にはキックオフ・フォーラムを行い、7 月には「患者にとっての最善のケア」についてのシンポジウム、2013 年 3 月にはフォーラム「実践と研究をつないでベストプラクティスを創る」を開催し、大学病院看護部、学内外関係者が参加し活発な意見交換が行われました。年度報告書も作成しました。

7．慶應看護 100 年事業の準備開始

2018 年慶應看護 100 年に向け、慶應看護 100 年記念準備委員会を設置し、藤村紅梅会長、茶園副会長、鎮目大学病院看護部長にもご参加いただき事業の準備をはじめました。募金活動は、学部も一緒になって推進していく所存です。記念誌編纂のための委員会も 2013 年 4 月から立ちあげました。

学生に対して紅梅会の重要性を説き、学生、卒業生、学部、紅梅会の連携がさらに強まるよう学部としても対応を検討していきたいと思います。皆様のご協力とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。

（看護医療学部長　太田　喜久子）

2013年３月卒業の看護医療学部９回生新入会員の紹介

泉　早紀

私は現在慶應義塾大学病院の血液内科病棟で働いています。学生の時とは違い、一つ一つの行動に大きな責任が伴うということを実感し、たくさんのことを学びながら毎日充実した日々を送っています。知識不足や技術不足、時間の使い方がうまくいかず、落ち込むことも多いですが、尊敬する先輩方の温かいご指導、患者さんの笑顔と「ありがとう」という言葉に励まされ毎日楽しく仕事をしています。まだまだ未熟な私ですが、自分の行動に責任を持ち、毎日変化する患者さんに寄り添い、患者さんの立場に立った看護が出来るよう努力を重ねていきたいです。

和田　龍太郎

私は現在、慶應義塾大学病院の小児科病棟で働いています。様々な発達段階の子どもがいる中で、採血や内服では泣き叫ぶ子どもに声をかけ、あやしながら行うこともあり、成人の患者さんとの違いや難しさを感じています。毎日新しいことに出会い、覚えることや学ぶことが多くて大変だと思うこともありますが、子どもの笑顔からいつも元気をもらっています。ご家族から感謝の言葉をいただいた時には嬉しく、もっと頑張ろうという気持ちになります。できないことばかりですが、先輩方の指導を受けながら少しずつ成長していきたいと思います。

梶　友里奈

私は４月からNTT東日本の産業保健師として働いています。卒業研究のプロジェクトで新入社員のストレスをテーマにしたことから興味を持ち、産業保健の道に進むことを決めました。健診結果や人間ドックの確認やそれらをもとにした保健指導、様々な職場環境の整備に対するサポートなどといった業務を行っています。まだまだ未熟ではありますが、研修や実践など自分を磨ける機会を活用しそれを重ねて行くことで、社員それぞれのライフスタイルに合わせたサポートができるよう、社会人として、保健師として成長していきたいです。

福喜多　あきえ

国立成育医療研究センターの脳神経・耳鼻咽喉・整形・形成外科病棟にて、乳幼児・学童・思春期の患者さんとその家族に囲まれて、看護師としての第一歩を踏み出しました。子どもの生きる力や、子どもを守ろうとする家族の強さとひたむきさに、多くのことを学んでいます。

小児科実習を経て「子どもの成長発達を促す支援」「家族を含めた支援」の大切さを知り、次のライフステージを視野に入れた包括的看護を志すようになりました。チームの一員として業務をこなすことに精一杯の日々ですが、初心を忘れず、少しずつ成長していきたいです。

学部生の活動

医療系学生による国際協力隊 euphoria

医療系学生による国際協力隊 euphoria は、毎年ワークキャンプという形で、インドネシアのストリートチルドレンとセックスワーカーを対象として保健活動をしています。euphoria は‘たとえ微力であろうとも国際保健分野を中心に国際社会への貢献を目指す’という理念を掲げ、活動してきました。私たちの目標は、現地の人々が、現地の人々の力で現地の健康を維持していくことができるような体制を作ることです。これまでは、対象者への健康に関する知識提供にとどまっていましたが、７年目よりピアエデュケーションをプロジェクトに組み込み、私たちが日本にいる間も対象者が自分自身で健康を維持できるように支援を始めました。しかし、ピアエデュケーションを地域に根付かせることは容易ではありません。ストリートチルドレンやセックスワーカーがいる環境はどうしても、健康を第一に考えることは難しい状況にあります。まずは、対象者の健康に対する意識を変えなければなりません。今年３月 euphoria8 年目のワークキャンプを終え、ストリートチルドレンやセックスワーカーの中に、地域の中に euphoria という存在が根付いていると、そして少しずつではありますが、私たちの存在が対象者と対象者を取り囲む人々の健康に対する意識の変化をもたらしているということを感じました。

euphoria は、来年で設立 10 年を迎えます。毎年同じ対象者にアプローチできるとは限らず、年に一回限られた期間の中で変化をもたらすことは困難です。しかし、限られた時間の中で出会える人々の人生に、少しでも影響できることができたなら、euphoria の使命は果たせたのではないかと思うのです。

（第８代目代表　川崎　笙子）

※ euphoria は、看護、医学、薬学など医療系に興味のある学生の集まる学生団体で、国際保健に関連した活動を、国内外で行っています。

世代をつなぐ「Link age」

活躍する同窓生

同窓生が活躍する現場は、病院・企業・地域など国の内・外を問わず多岐に渡り、職種も多様化しております。今回は、言語や文化の異なる地で、看護を必要とする人々に寄り添い、看護の可能性に挑戦している会員の活動の一部を紹介したいと思います。

海外ボランティア活動を通して

学２回生　山本　還

慶應義塾大学病院で４年間勤務した後、2010 年６月から 2011 年４月まで西アフリカのブルキナファソで、2011 年９月から 2012 年６月まで南大洋州のソロモン諸島で、青年海外協力隊というボランティア活動に参加してきました。

ブルキナファソでは、総合病院で、システムや環境を改善するというプログラムに参画し、現地職員と一緒に取り組んでいました。現地職員が主体となって病院を改善していけるようにサポートしたいと考え、病院の状況を把握するための情報収集だけでなく、文化、宗教など人々の価値観を形成するものを理解しようと積極的に人々とかかわるような活動をしていました。ブルキナファソの人々の挨拶はとても長く、握手をしながら、「おはよう」「調子はどう？」「家族は元気？」「仕事は順調？」などお互いに言葉を交わします。遅刻していても省略しません。「おはよう」の一言で済ますことは失礼なことなのです。また、同日、同じ人と会うのが二度目でも、同様の挨拶を交わします。このように、ここでは効率の良さに重きを置いていないことが肌で感じられ、彼らの考える病院の問題点と、私が感じる問題点が異なる理由が理解できるようになりました。

しかし、そのように活動の方向性が定まってきた頃、治安悪化のために退避することとなり、その後、ソロモン諸島へ派遣されました。そこでは、無医村の診療所で、現地の看護師や助産師と一緒に看護や診療をしていました。全く携わったことのない、お産介助や、妊婦や乳幼児の診察を行い、色々教えてもらうことの方が多く、刺激的な日々でした。

この２年間は、多くのものを得る貴重な時間であったと同時に、自分の無力さを痛感した時間でもありました。現在は、日本で再び看護師として働いており、自分がどのように国際協力にかかわっていこうか模索中です。

第 36 回　紅梅会研修会のお知らせ

今回は看護の多様性に視点を向けた研修を企画しました。

「保健サービス」から抜け落ちている人々を「検診弱者」と捉え、看護を活かしたソーシャルビジネスとして検診事業に取り組み、お客様サービスや地域貢献に繋げるなどのユニークなアイディアで、予防が治療に勝ることの証明を目指して活躍している若手企業家、看護医療学部一回生の川添高志氏に講師をお願いしました。講演終了後には講師を囲んでの懇親会を予定しています。奮ってご参加ください。

（研修委員会　62 回生　阿部　真理子）

テーマ　：　「ワンコイン検診の挑戦」― 検診弱者を救うために ―

講　師　：　川添　高志　氏　ケアプロ株式会社代表

川添高志氏

日　時　2013 年 10 月 18 日（金）17:30 ～受付　18:00 ～ 19:30　講演

場　所　孝養舎（信濃町キャンパス）　202 教室

研修会費　無　料

（懇親会参加自由　会費：ワンコイン 500 円）

講師プロフィール

1982 年生まれ。慶應義塾大学看護医療学部卒業。在学中の患者さんとの出会いから予防医療と在宅医療に関心を持つ。医療政策の学生組織の立ち上げ、米国の Mayo clinic の研修では Retail clinic や In-store Healthcare に興味を持ち、在学中より経営コンサルティングに従事し、その体験をもとに起業する。東京大学医療政策人材養成講座で優秀成果物「特賞」、慶應義塾大学 SEA(ビジネスプランコンテスト) で「The best new markets award」を受賞し、NEC 社会起業塾７期生に選抜、現在は慶應義塾大学 KIEP の支援を得る。今年度、川添氏が代表である“ケアプロ株式会社”は、「日経ソーシャルイニシアチブ大賞・国内部門賞」を受賞する。

名簿委員会からのお知らせ

前回の会員名簿作成から十数年が過ぎました。十年一昔皆様方にも様々な生活環境の変化があったと思います。特にこの十年間は、2011 年に東日本大震災があり、生活を一変された方も多数おられるでしょう。十数年間には、卒業、就職、結婚、出産、育児、転職、退職、病気、親族との別離等にそれぞれの人生がつまっていることでしょう。名簿作成に際し、7 月に送付し、ご返送の葉書には、皆様の思いや体験が沢山綴られておりました。9 月には皆様のご協力を得て、会員情報確認や広告掲載の依頼も頂いております。名簿委員会では、皆様の声や思い出の写真を掲載し、懐かしく元気をもらえるような会員名簿を作成したいと思いながら、2014 年 5 月発刊を目指しおります。名簿によって厚生女子学院、看護短大、看護医療学部、高看二部、助産、准看の慶應看護同窓生が消息を知る機会となり、連携をとり、2018 年の慶應看護教育 100 周年を迎えましょう。様々な所で看護に携わられても、ペンの誇りを胸に看護の道を歩んだ仲間として、共有できるものがあると思います。なお、名簿購入をご希望される方は、事前予約の上ご購入いただくことをお勧めいたします。

（66 回生　大屋　知子）

2013 年度紅梅会役員・委員

会長	藤村　龍子	(49)	研修	☆菅原　彩水	(学7)	役員推薦	佐々木さな枝	(短6)
副会長	※茶園　美香	(66)	編集	◎関口　梓	(学3)	ホームページ	◎山本　望美	(学5)
書記	太田佐知子	(短4)		☆江村　晴子	(短1)		佐藤　絵理	(学5)
	☆櫻木麻理子	(短3)		石橋由紀子	(86)		鈴木　理央	(学5)
	☆富岡　久子	(短5)		黒木　由布	(学5)		☆伊藤　悠海	(学8)
会計	中富真由美	(88)		河路　恩	(学7)		☆萩原　亜耶	(学8)
	☆黒澤　真紀	(短4)		宮川　渚	(学7)		☆本荘　望海	(学8)
会計監査	金子　智子	(短1)		☆小川　紀代	(82)	名簿	◎☆橋本美智子	(54)
	☆赤木　紀子	(短9)	準備	◎江河　都美	(84)		☆大屋　知子	(66)
研修	◎阿部眞理子	(62)		武野　宏子	(短4)		☆伊澤　由香	(短7)
	下吹越みすき	(学6)		酒井　香織	(学5)		☆荒武　喜子	(学1)
	矢坂　泰介	(学7)		☆浅田　あや	(学4)	紅梅会事務	浅田　頼子	(68)
	☆清水　信輔	(学1)	役員推薦	◎須藤　裕美	(89)			
	☆梶本　彩香	(学7)		藤原　光子	(54)			

（　）：卒業回生　　◎：委員長
☆：新役員・委員　※：再任

紅梅会事務局より

お知らせ　会報はゆうメールでお届けしています

住所・氏名等に変更があった場合は、必ず事務局までご一報下さい。事務局は原則として下記の日時に開けておりますが、諸事情により不在のこともございますので、あらかじめご了承下さい。なお、不在の場合は留守番電話に、回生、お名前、用件をお残しください。

浅田　頼子（68 回生）

事務局在室時間　月・木曜日　13時～17時（時間が変更になりました）
直通電話・FAX：03－3341－8116

2014 年度前期「特選塾員推薦」受付中

2001 年 4 月から、特選塾員規約の一部変更により、厚生女子学院卒業生の方も特選塾員となることができるようになり、今までに 240 名の方が紅梅会推薦により特選塾員となられました。塾員であるということは慶應義塾卒業生のメンバーとして塾員間の交流ができるようになり、多彩なメンバーとの交流もできるようになります。

紅梅会推薦として手続きいたしますので、ご希望の方は「氏名・ふりがな・生年月日・現住所・電話番号・勤務先・回生または卒業年月」を明記して、紅梅会事務局に郵送またはファックスでお送り下さい（2 月 28 日締め切り）。

今回申込みをされた方は 2014 年 5 月末頃の決定通知となります。なお不明なことは紅梅会事務局にお問い合わせください。

訃報

助22回生	吉田美代子（旧姓鵜沢）	2012年12月 3 日
22回生	川上　くめ	2010年 9 月 9 日
32回生	佐藤　キク（旧姓小神野）	2013年 3 月26日
34回生	橋爪久美子	2013年 2 月 1 日
35回生	福岡　康子	2013年 5 月18日
37回生	佐々木初子（旧姓丸山）	2012年 9 月 3 日
39回生	神崎　京子	2013年 3 月18日
40回生	藤井　和子（旧姓木ノ村）	2013年 2 月 7 日

編集後記

猛暑、水不足、局地的な豪雨など異常気象に関する言葉を毎日のように耳にする夏でしたが、会員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか？

紅梅会は「慶應看護同窓会 紅梅会」への名称変更、会員名簿の作成、慶應看護 100 年記念事業など、会員サービスの充実と共に、塾内・外へ向けての情報発信も積極的に行っています。

今後もこの紙面を通してこれらの活動状況をお伝えしたいと思います。どうぞ皆さまの会報に関するご意見、ご要望をお寄せ下さい。

編集委員　関口　梓